

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	約9年10カ月間（2013年7月10日～2023年5月12日）	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	イ. インド・ルピー建ての債券 ロ. インド・ルピー以外の通貨建ての債券のうち、次のもの i. インドの政府、政府関係機関および企業が発行する債券 ii. 国際機関等が発行する債券 ※以下、イ. およびロ. の債券を総称して「インド債券等」といいます。 ハ. ダイワ・インド・ルピーマザーファンドの受益証券
ベビーファンドの運用方法	①主として、インド債券等に投資することにより信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 ※インド債券等への投資に当たっては、マザーファンドを通じて投資を行なう場合があります。 ②運用に当たっては、以下の方針を基本とします。 イ. 投資対象は、次の債券とします。 i. インド・ルピー建ての債券 ii. インド・ルピー以外の通貨建ての債券のうち、次のもの a. インドの政府、政府関係機関および企業（※）が発行する債券 b. 国際機関等が発行する債券 （※）インドの企業とは、インド国内に本社を置いている企業等、委託会社がインドの企業であると判断した企業とします。 （注）国際機関等が発行する債券への投資割合は、投資枠の獲得状況等によって高くなる場合があります。 ロ. インド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資する場合、原則として、為替予約取引および直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行ないます。 ハ. 金利や物価の動向、経済情勢や市場環境等を勘案し、ポートフォリオを構築します。 ③外貨建資産の運用に当たっては、ダイワ・ポートフォリオ・アドバイザー（インド）プライベート・リミテッドおよびSBI Funds Management Private Limitedの助言を受けます。 ④インド債券等の組入比率は、通常の状態では高位に維持することを基本とします。 ⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。また、第1および第2計算期末には、収益の分配は行ないません。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

# インド・ボンド・オープン （毎月決算型）

## 運用報告書（全体版）

第29期（決算日	2015年12月14日）
第30期（決算日	2016年1月12日）
第31期（決算日	2016年2月12日）
第32期（決算日	2016年3月14日）
第33期（決算日	2016年4月12日）
第34期（決算日	2016年5月12日）

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「インド・ボンド・オープン（毎月決算型）」は、このたび、第34期の決算を行ないました。

ここに、第29期～第34期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			JPMorganGBI-EMインド (円換算)		公社債組入比率	純資産額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率		
	円	円	%		%	%	百万円
5 期末(2013年12月12日)	9,591	10	7.3	9,591	7.4	93.3	0
6 期末(2014年 1月14日)	9,755	10	1.8	9,766	1.8	92.6	0
7 期末(2014年 2月12日)	9,556	10	△ 1.9	9,595	△ 1.7	94.3	0
8 期末(2014年 3月12日)	9,806	10	2.7	9,898	3.2	95.3	0
9 期末(2014年 4月14日)	9,823	10	0.3	9,936	0.4	96.7	0
10 期末(2014年 5月12日)	10,132	10	3.2	10,246	3.1	96.2	1
11 期末(2014年 6月12日)	10,515	10	3.9	10,684	4.3	96.6	1
12 期末(2014年 7月14日)	10,232	10	△ 2.6	10,385	△ 2.8	97.4	1
13 期末(2014年 8月12日)	10,128	10	△ 0.9	10,341	△ 0.4	96.5	1
14 期末(2014年 9月12日)	10,807	10	6.8	11,053	6.9	96.8	1
15 期末(2014年10月14日)	10,893	10	0.9	11,149	0.9	96.7	1
16 期末(2014年11月12日)	11,975	10	10.0	12,309	10.4	96.3	1
17 期末(2014年12月12日)	12,491	10	4.4	12,864	4.5	96.9	1
18 期末(2015年 1月13日)	12,443	10	△ 0.3	12,856	△ 0.1	97.0	1
19 期末(2015年 2月12日)	12,796	10	2.9	13,247	3.0	97.4	1
20 期末(2015年 3月12日)	12,826	10	0.3	13,342	0.7	92.4	1
21 期末(2015年 4月13日)	12,905	60	1.1	13,410	0.5	93.0	171
22 期末(2015年 5月12日)	12,363	60	△ 3.7	12,962	△ 3.3	97.7	181
23 期末(2015年 6月12日)	12,699	60	3.2	13,309	2.7	98.5	186
24 期末(2015年 7月13日)	12,775	60	1.1	13,490	1.4	99.1	187
25 期末(2015年 8月12日)	12,880	60	1.3	13,653	1.2	98.5	203
26 期末(2015年 9月14日)	11,947	60	△ 6.8	12,872	△ 5.7	97.7	191
27 期末(2015年10月13日)	12,308	60	3.5	13,338	3.6	96.8	197
28 期末(2015年11月12日)	12,252	60	0.0	13,411	0.5	97.4	216
29 期末(2015年12月14日)	11,790	60	△ 3.3	12,984	△ 3.2	97.4	207
30 期末(2016年 1月12日)	11,586	60	△ 1.2	12,870	△ 0.9	96.6	203
31 期末(2016年 2月12日)	10,742	60	△ 6.8	12,000	△ 6.8	97.0	188
32 期末(2016年 3月14日)	11,022	60	3.2	12,429	3.6	96.4	193
33 期末(2016年 4月12日)	10,815	60	△ 1.3	12,280	△ 1.2	96.6	190
34 期末(2016年 5月12日)	10,792	60	0.3	12,332	0.4	96.5	189

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) JPMorgan GBI-EM インド (円換算) は、JPMorgan GBI-EM インド (インド・ルピーベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。JPMorgan GBI-EM インド (インド・ルピーベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

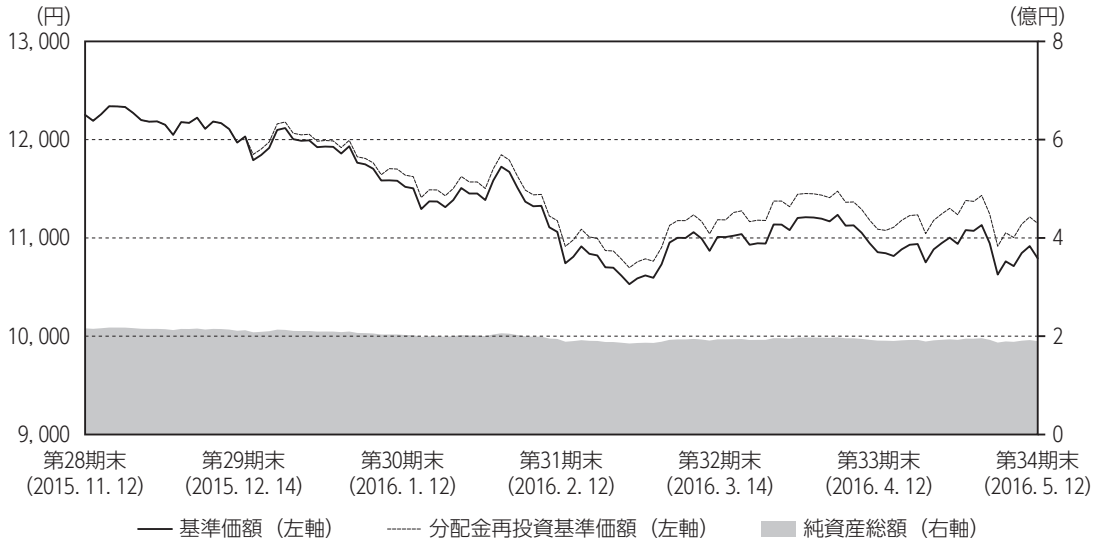
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

## 《運用経過》

## 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

## ■基準価額・騰落率

第29期首：12,252円

第34期末：10,792円（既払分配金360円）

騰落率：△9.0%（分配金再投資ベース）

## ■基準価額の主な変動要因

主にインド・ルピー建ての債券に投資した結果、債券価格の上昇および債券の利息収入はプラス要因となりましたが、インド・ルピーが対円で下落したことにより、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

インド・ボンド・オープン（毎月決算型）

	年 月 日	基 準 価 額		J PモルガンGB IーEMインド (円換算)		公 社 債 入 率 組 比
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第29期	(期首) 2015年11月12日	円 12,252	% —	13,411	% —	% 97.4
	11月末	12,049	△ 1.7	13,181	△ 1.7	97.1
	(期末) 2015年12月14日	11,850	△ 3.3	12,984	△ 3.2	97.4
第30期	(期首) 2015年12月14日	11,790	—	12,984	—	97.4
	12月末	11,859	0.6	13,091	0.8	96.6
	(期末) 2016年1月12日	11,646	△ 1.2	12,870	△ 0.9	96.6
第31期	(期首) 2016年1月12日	11,586	—	12,870	—	96.6
	1月末	11,584	△ 0.0	12,863	△ 0.1	96.8
	(期末) 2016年2月12日	10,802	△ 6.8	12,000	△ 6.8	97.0
第32期	(期首) 2016年2月12日	10,742	—	12,000	—	97.0
	2月末	10,594	△ 1.4	11,816	△ 1.5	96.7
	(期末) 2016年3月14日	11,082	3.2	12,429	3.6	96.4
第33期	(期首) 2016年3月14日	11,022	—	12,429	—	96.4
	3月末	11,169	1.3	12,589	1.3	96.2
	(期末) 2016年4月12日	10,875	△ 1.3	12,280	△ 1.2	96.6
第34期	(期首) 2016年4月12日	10,815	—	12,280	—	96.6
	4月末	10,945	1.2	12,427	1.2	96.3
	(期末) 2016年5月12日	10,852	0.3	12,332	0.4	96.5

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

**投資環境について****○インド債券市況**

インド債券市況は金利低下（価格は上昇）しました。第29期首より、RBI（インド準備銀行）が金融緩和姿勢の継続を示唆したため緩やかに金利低下する展開でした。2015年12月に会期末を迎えた冬国会において、与党BJP（インド人民党）が導入をめざすGST（全国一律の物品サービス税）は一步手前のところで野党との合意が得られませんでした。市場への影響は限定的でした。2016年2月末に発表された来年度政府予算案において、政府が財政赤字削減に向けた取り組みの継続を示しインフレ率の安定が確認されたことで利下げ期待が強まり、債券市場では金利低下が進みました。4月には、RBIは政策金利（レポ金利）を引き下げました。

**○為替相場**

当作成期間の前半の為替相場は、米国の利上げ観測が高まる中で米ドルが主要通貨に対して上昇しやすい環境でしたが、OPEC（石油輸出国機構）における原油減産合意が実現しなかったことや海外でのクレジットファンドの閉鎖のニュース、また中国経済の不透明感への懸念等により、世界的に株価が下落して市場全体のリスク回避姿勢が強まったことで、安全通貨である円が主要通貨に対して上昇しました。一方、インド・ルピーは他の新興国通貨と同様に下落しました。当期間の後半は、原油高と株価の持ち直しにより、市場全体のリスク回避姿勢が緩和したことから、インド・ルピーを含む新興国通貨が堅調になったものの、日銀の金融政策への懐疑的な見方や米国の利上げペースが後退するとの観測から円高が進行し、対円ではルピーは下落しました。

**前作成期間末における「今後の運用方針」****○当ファンド**

「ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド」の受益証券等を通じて、インド・ルピー建ての債券等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

**○ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド**

当ファンドの商品性格に鑑み、主として、インド債券等に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオにつきましては、インド・ルピー建ての債券とインド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資します。インド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資する場合、原則として、為替予約取引および直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行ないます。実際の運用においては、政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどを勘案し運用いたします。

## ポートフォリオについて

### ○当ファンド

「ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド」の受益証券を通じて、インド・ルピー建ての債券等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

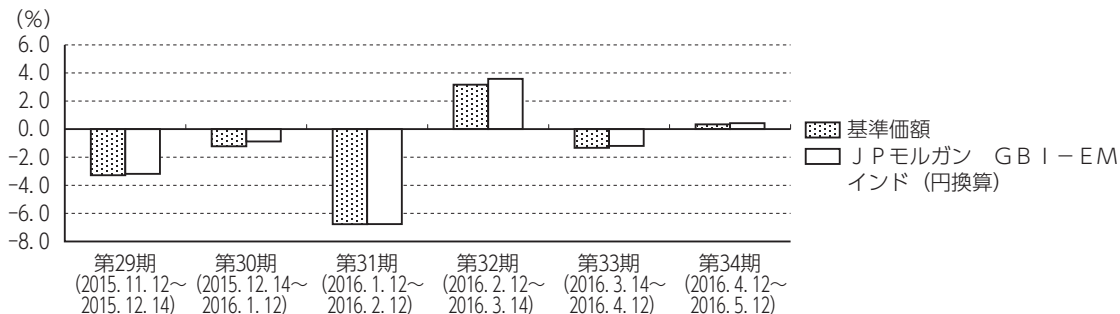
### ○ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド

債券ポートフォリオは、国債を中心にインド・ルピー建ての債券等に投資しました。また、米ドル建社債に投資した部分については直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行ないました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はインド債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



## 分配金について

第29期から第34期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ60円といたしました。  
 収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。  
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第29期	第30期	第31期	第32期	第33期	第34期
	2015年11月13日 ～2015年12月14日	2015年12月15日 ～2016年1月12日	2016年1月13日 ～2016年2月12日	2016年2月13日 ～2016年3月14日	2016年3月15日 ～2016年4月12日	2016年4月13日 ～2016年5月12日
当期分配金（税込み）（円）	60	60	60	60	60	60
対基準価額比率（%）	0.51	0.52	0.56	0.54	0.55	0.55
当期の収益（円）	54	49	50	60	45	48
当期の収益以外（円）	5	10	9	—	14	11
翌期繰越分配対象額（円）	2,978	2,968	2,958	2,960	2,946	2,934

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第29期	第30期	第31期	第32期	第33期	第34期
(a) 経費控除後の配当等収益	54.26円	49.40円	50.28円	61.97円	45.52円	48.15円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	2,869.93	2,869.95	2,870.03	2,870.12	2,870.20	2,870.22
(d) 分配準備積立金	114.68	108.93	98.27	88.49	90.40	75.92
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	3,038.88	3,028.29	3,018.59	3,020.59	3,006.14	2,994.30
(f) 分配金	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	2,978.88	2,968.29	2,958.59	2,960.59	2,946.14	2,934.30

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

## 《今後の運用方針》

### ○当ファンド

「ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド」の受益証券等を通じて、インド・ルピー建ての債券等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

### ○ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、主として、インド債券等に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオにつきましては、インド・ルピー建ての債券とインド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資します。インド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資する場合、原則として、為替予約取引および直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行ないます。実際の運用においては、政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどを勘案し運用いたします。



## 1 万口当りの費用の明細

項 目	第29期～第34期		項 目 の 概 要
	(2015. 11. 13～2016. 5. 12)		
	金 額	比 率	
信託報酬	82円	0.720%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 <b>期中の平均基準価額は11,369円です。</b>
（投信会社）	(37)	(0.322)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(43)	(0.376)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(2)	(0.021)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	15	0.132	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(8)	(0.071)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(7)	(0.057)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	97	0.852	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## インド・ボンド・オープン（毎月決算型）

### ■売買および取引の状況

#### 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2015年11月13日から2016年5月12日まで)

決算期	第29期～第34期			
	設定		解約	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・インド・ルピー債 マザーファンド	—	—	5,019	8,829

(注) 単位未満は切捨て。

### ■利害関係人との取引状況

当作成期間（第29期～第34期）中における利害関係人との取引はありません。

### ■組入資産明細表 親投資信託残高

種類	第28期末	第34期末	
	□数	□数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・インド・ルピー債 マザーファンド	117,089	112,070	190,710

(注) 単位未満は切捨て。

### ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2015年12月14日)、(2016年1月12日)、(2016年2月12日)、(2016年3月14日)、(2016年4月12日)、(2016年5月12日)現在

項目	第29期末	第30期末	第31期末	第32期末	第33期末	第34期末
(A) 資産	209,400,311円	204,753,786円	190,052,944円	195,102,355円	191,583,237円	191,209,889円
コール・ローン等	76,062	97,693	215,119	342,613	283,047	435,550
ダイワ・インド・ルピー債 マザーファンド(評価額)	209,260,587	204,592,431	189,774,163	194,696,080	191,236,528	190,710,677
その他未収収益	63,662	63,662	63,662	63,662	63,662	63,662
(B) 負債	1,493,230	1,306,511	1,304,465	1,293,525	1,286,203	1,291,433
未払収益分配金	1,058,040	1,053,627	1,054,285	1,054,999	1,055,698	1,055,876
未払信託報酬	271,687	239,250	245,980	233,039	223,782	227,577
その他未払費用	163,503	13,634	4,200	5,487	6,723	7,980
(C) 純資産総額(A-B)	207,907,081	203,447,275	188,748,479	193,808,830	190,297,034	189,918,456
元本	176,340,151	175,604,617	175,714,321	175,833,256	175,949,816	175,979,389
次期繰越損益金	31,566,930	27,842,658	13,034,158	17,975,574	14,347,218	13,939,067
(D) 受益権総口数	176,340,151口	175,604,617口	175,714,321口	175,833,256口	175,949,816口	175,979,389口
1万口当り基準価額(C/D)	11,790円	11,586円	10,742円	11,022円	10,815円	10,792円

\* 第28期末における元本額は176,318,555円、当作成期間（第29期～第34期）中における追加設定元本額は422,925円、同解約元本額は762,091円です。

\* 第34期末の計算口数当りの純資産額は10,792円です。

### ■投資信託財産の構成

2016年5月12日現在

項目	第34期末	
	評価額	比率
	千円	%
ダイワ・インド・ルピー債 マザーファンド	190,710	99.7
コール・ローン等、その他	499	0.3
投資信託財産総額	191,209	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、5月12日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝108.37円、1インド・ルピー＝1.64円です。

(注3) ダイワ・インド・ルピー債マザーファンドにおいて、第34期末における外貨建純資産(1,994,688千円)の投資信託財産総額(2,024,408千円)に対する比率は、98.5%です。

### ■特定資産の価格等の調査

当ファンドの主要投資対象であるダイワ・インド・ルピー債マザーファンドにおいて行なった取引のうち、投資信託および投資法人に関する法律により価格等の調査が必要とされた資産の取引については、あずさ監査法人へその調査を委託しました。対象期間中（2015年11月13日～2016年5月12日）に該当した取引は、直物為替先渡取引が13件あり、該当取引については当該監査法人からの調査報告書を受領しました。

なお、直物為替先渡取引については、取引の相手方の名称、通貨の種類、売買の別、想定元本、満期日その他当該取引の内容に関することについて調査を委託しました。

## ■損益の状況

項目	第29期 自 2015年11月13日 至 2015年12月14日 第30期 自 2015年12月15日 至 2016年 1月12日	第30期 自 2016年 1月13日 至 2016年 2月12日 第31期 自 2016年 2月13日 至 2016年 3月14日	第31期 自 2016年 3月15日 至 2016年 4月12日 第32期 自 2016年 4月13日 至 2016年 5月12日	第32期	第33期	第34期
(A) 有価証券売買損益	△ 6,784,880円	△ 2,276,619円	△ 13,524,268円	6,221,917円	△ 2,359,552円	874,149円
売買益	—	24,826	—	6,221,917	—	874,150
売買損	△ 6,784,880	△ 2,301,445	△ 13,524,268	—	△ 2,359,552	△ 1
(B) 信託報酬等	△ 304,190	△ 262,356	△ 247,346	△ 234,326	△ 225,018	△ 228,834
(C) 当期損益金 (A+B)	△ 7,089,070	△ 2,538,975	△ 13,771,614	5,987,591	△ 2,584,570	645,315
(D) 前期繰越損益金	△ 8,224,473	△ 16,300,841	△ 19,893,443	△ 34,719,342	△ 29,786,750	△ 33,427,018
(E) 追加信託差損益金	47,938,513	47,736,101	47,753,500	47,762,324	47,774,236	47,776,646
(配当等相当額)	( 50,608,453)	( 50,397,744)	( 50,430,707)	( 50,466,308)	( 50,501,210)	( 50,510,020)
(売買損益相当額)	(△ 2,669,940)	(△ 2,661,643)	(△ 2,677,207)	(△ 2,703,984)	(△ 2,726,974)	(△ 2,733,374)
(F) 合計 (C+D+E)	32,624,970	28,896,285	14,088,443	19,030,573	15,402,916	14,994,943
(G) 収益分配金	△ 1,058,040	△ 1,053,627	△ 1,054,285	△ 1,054,999	△ 1,055,698	△ 1,055,876
次期繰越損益金 (F+G)	31,566,930	27,842,658	13,034,158	17,975,574	14,347,218	13,939,067
追加信託差損益金	47,938,513	47,736,101	47,753,500	47,762,324	47,774,236	47,776,646
(配当等相当額)	( 50,608,453)	( 50,397,744)	( 50,430,707)	( 50,466,308)	( 50,501,210)	( 50,510,020)
(売買損益相当額)	(△ 2,669,940)	(△ 2,661,643)	(△ 2,677,207)	(△ 2,703,984)	(△ 2,726,974)	(△ 2,733,374)
分配準備積立金	1,921,165	1,726,807	1,556,061	1,590,751	1,336,148	1,127,637
繰越損益金	△ 18,292,748	△ 21,620,250	△ 36,275,403	△ 31,377,501	△ 34,763,166	△ 34,965,216

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいひ、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表を参照。

## ■収益分配金の計算過程（総額）

項目	第29期	第30期	第31期	第32期	第33期	第34期
(a) 経費控除後の配当等収益	956,876円	867,571円	883,539円	1,089,689円	801,095円	847,365円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	50,608,453	50,397,744	50,430,707	50,466,308	50,501,210	50,510,020
(d) 分配準備積立金	2,022,329	1,912,863	1,726,807	1,556,061	1,590,751	1,336,148
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	53,587,658	53,178,178	53,041,053	53,112,058	52,893,056	52,693,533
(f) 分配金	1,058,040	1,053,627	1,054,285	1,054,999	1,055,698	1,055,876
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	52,529,618	52,124,551	51,986,768	52,057,059	51,837,358	51,637,657
(h) 受益権総口数	176,340,151口	175,604,617口	175,714,321口	175,833,256口	175,949,816口	175,979,389口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第29期	第30期	第31期	第32期	第33期	第34期
	60円	60円	60円	60円	60円	60円
(単 価)	(11,790円)	(11,586円)	(10,742円)	(11,022円)	(10,815円)	(10,792円)

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記( )内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

#### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

<補足情報>

当ファンド（インド・ボンド・オープン（毎月決算型））が投資対象としている「ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド」の決算日（2015年11月12日）と当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第34期の決算日（2016年5月12日）現在におけるダイワ・インド・ルピー債マザーファンドの組入資産の内容等を12～13ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・インド・ルピー債マザーファンドの主要な売買銘柄  
公 社 債

(2015年11月13日から2016年5月12日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
Food Corp of India (インド) 9.95% 2022/3/7	千円 95,728	India Government Bond (インド) 8.07% 2017/7/3	千円 89,965
India Government Bond (インド) 9.23% 2043/12/23	95,663	India Government Bond (インド) 8.79% 2021/11/8	88,697
		INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT (国際機関) 2.125% 2016/3/15	5,555

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2016年5月12日現在におけるダイワ・インド・ルピー債マザーファンド（1,189,548千口）の内容です。

(1)外国（外貨建）公社債（通貨別）

区 分	2016年5月12日現在							
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うちBB格 以下組入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
アメリカ	千アメリカ・ドル 2,580	千アメリカ・ドル 2,677	千円 290,205	% 14.3	% —	% 3.3	% 7.4	% 3.6
インド	千インド・ルピー 950,000	千インド・ルピー 1,009,174	1,655,045	81.8	—	77.5	4.3	—
合 計	—	—	1,945,250	96.1	—	80.8	11.7	3.6

(注1) 邦貨換算金額は、2016年5月12日現在の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

# ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド

## (2) 外国 (外貨建) 公社債 (銘柄別)

2016年5月12日現在								
区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日	
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額		
アメリカ	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	2.1250	千アメリカ・ドル 150	千アメリカ・ドル 154	千円 16,749	2023/02/13	
	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	1.0000	300	300	32,562	2018/10/05	
	Oil India Ltd	社 債 券	5.3750	200	218	23,688	2024/04/17	
	Bharti Airtel Ltd	社 債 券	4.3750	240	248	26,959	2025/06/10	
	State Bank of India London	社 債 券	4.1250	250	257	27,881	2017/08/01	
	ICICI Bank Ltd/Hong Kong	社 債 券	5.7500	100	112	12,196	2020/11/16	
	ICICI Bank Ltd/Dubai	社 債 券	4.7000	200	208	22,633	2018/02/21	
	INDIAN RAILWAY FINANCE CORP LTD	社 債 券	3.4170	200	204	22,159	2017/10/10	
	INDIAN RAILWAY FINANCE CORP LTD	社 債 券	3.9170	320	335	36,357	2019/02/26	
	Bank of India/London	社 債 券	3.6250	620	636	69,016	2018/09/21	
	通貨小計	銘柄数 金 額	10銘柄		2,580	2,677	290,205	
	インド	India Government Bond	国債証券	8.7900	% 千インド・ルピー 50,000	千インド・ルピー 52,793	千円 86,580	2021/11/08
India Government Bond		国債証券	9.1500	50,000	54,218	88,918	2024/11/14	
India Government Bond		国債証券	8.3300	50,000	52,002	85,284	2026/07/09	
India Government Bond		国債証券	8.9700	150,000	164,281	269,421	2030/12/05	
India Government Bond		国債証券	7.1600	100,000	97,593	160,052	2023/05/20	
India Government Bond		国債証券	8.3200	50,000	52,150	85,526	2032/08/02	
India Government Bond		国債証券	8.2800	100,000	103,785	170,207	2027/09/21	
India Government Bond		国債証券	8.3000	50,000	52,370	85,886	2042/12/31	
India Government Bond		国債証券	9.2300	100,000	114,740	188,173	2043/12/23	
India Government Bond		国債証券	9.2000	50,000	55,555	91,110	2030/09/30	
Food Corp of India		特殊債券	9.9500	50,000	54,396	89,210	2022/03/07	
EXPORT IMPORT BANK OF INDIA		特殊債券	8.1500	50,000	49,672	81,462	2030/01/21	
Power Finance Corp Ltd		社 債 券	9.7000	50,000	52,536	86,159	2020/01/31	
NTPC Ltd		社 債 券	9.1700	50,000	53,080	87,051	2024/09/22	
通貨小計	銘柄数 金 額	14銘柄		950,000	1,009,174	1,655,045		
合 計	銘柄数 金 額	24銘柄				1,945,250		

(注1) 邦貨換算金額は、2016年5月12日現在の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

## (3) 直物為替先渡取引残高

2016年5月12日現在

種 類	取 引 契 約 残 高	
	想 定 元 本 額	
	買 建	売 建
直物為替先渡取引	百万円 298	百万円 7

(注1) インド・ルピー (対象通貨) の買建および売建の金額です。

(注2) 単位未満は切捨て。

## ■直物為替先渡取引 (ご参考)

(2015年11月13日から2016年5月12日まで)

種 類	取 引 契 約 金 額	
	買 建	売 建
直物為替先渡取引	百万円 1,648	百万円 334

(注1) インド・ルピー (対象通貨) の買建および売建の金額です。

(注2) 単位未満は切捨て。

# ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド

## 運用報告書 第4期 (決算日 2015年11月12日)

(計算期間 2014年11月13日～2015年11月12日)

ダイワ・インド・ルピー債マザーファンドの第4期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	<p>イ. インド・ルピー建ての債券</p> <p>ロ. インド・ルピー以外の通貨建ての債券のうち、次のもの</p> <p>    i. インドの政府、政府関係機関および企業が発行する債券</p> <p>    ii. 国際機関等が発行する債券</p> <p>※以下、イ. およびロ. の債券を総称して「インド債券等」といいます。</p>
運用方法	<p>①主として、インド債券等に投資することにより信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。</p> <p>②運用にあたっては、以下の方針を基本とします。</p> <p>    イ. 投資対象は、次の債券とします。</p> <p>        i. インド・ルピー建ての債券</p> <p>        ii. インド・ルピー以外の通貨建ての債券のうち、次のもの</p> <p>            a. インドの政府、政府関係機関および企業（※）が発行する債券</p> <p>            b. 国際機関等が発行する債券</p> <p>        （※）インドの企業とは、インド国内に本社を置いている企業等、委託会社がインドの企業であると判断した企業とします。</p> <p>        （注）国際機関等が発行する債券への投資割合は、投資枠の獲得状況等によって高くなる場合があります。</p> <p>    ロ. インド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資する場合、原則として、為替予約取引および直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行ないます。</p> <p>    ハ. 金利や物価の動向、経済情勢や市場環境等を勘案し、ポートフォリオを構築します。</p> <p>③外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・ポートフォリオ・アドバイザー（インド）プライベート・リミテッドおよびSBI Funds Management Private Limitedの助言を受けます。</p> <p>④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>
株式組入制限	純資産総額の10%以下

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

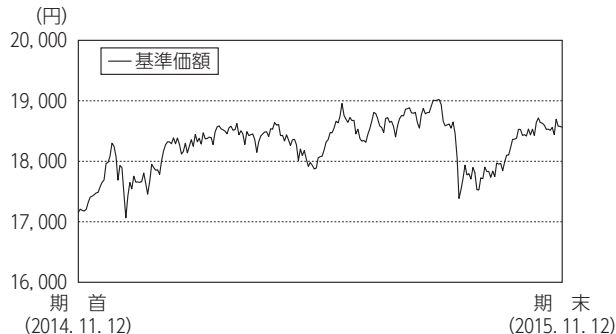
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>



■当期中の基準価額と市況の推移

【運用経過】



◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：17,155円 期末：18,564円 騰落率：8.2%

【基準価額の主な変動要因】

主にインド・ルピー建ての債券に投資した結果、インド・ルピーは対円で下落しましたが、債券の価格上昇に加えて利息収入により、基準価額は値上がりしました。

◆投資環境について

○インド債券市況

インド・ルピー建て債券金利は低下、米ドル建て社債金利は上昇しました。インド・ルピー建て債券市場では、RBI（インド準備銀行）が、モディ首相の進める経済改革・構造改革を金融面からサポートするため金融緩和姿勢を継続したことが、金利低下の背景となりました。実際にRBIは原油安によるインフレ沈静化見通しを強めたため、政策金利を2015年に入り4回下げました。一方米ドル建て社債市場では、FRB（米連邦準備制度理事会）が景気回復を背景に利上げ機会を伺う投資環境でした。経済指標の改善が必ずしも一様でなかったほか、米ドル高による企業収益の鈍化などが懸念されたため、市場では利上げ観測が後退する局面が見られました。しかし次の一手は利上げという見方が市場で継続したため、2015年春以降はおおむね金利は上昇基調で推移しました。

○為替相場

インド・ルピーの対円レートは小幅下落しました。米国の利上げ観測が新興国通貨の下落圧力になり続けたほか、原油価格などの商品価格の下落が新興国通貨全般に逆風となりました。ルピーはモディ政権による経済改革期待が下支え要因となり、2015年7月までは比較的狭いレンジ内で推移しました。しかし、6月中旬をピークに中国株が急落したことをきっかけに中国経済への警戒感が広がると、投資家のリスク回避姿勢が強まったため、夏場にはルピーをはじめとした新興国通貨が全般に下落しました。その後は期末にかけて、グローバルの投資環境が落ち着くにつれてルピーは戻り歩調となりました。

◆前期における「今後の運用方針」

当ファンドの商品性格に鑑み、主として、インド債券等に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオにつきましては、インド・ルピー建ての債券とインド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資します。インド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資する場合、原則として、為替予約取引および直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行ないます。実際の運用においては、政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどを勘案し運用いたします。

◆ポートフォリオについて

債券ポートフォリオは、国債を中心にインド・ルピー建て債券等に投資しました。また、米ドル建社債に投資した部分については直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。参考指数はインド債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

年 月 日	基準 価 額		J Pモルガン G B I - E M インド (円換算)		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率		(参考指数)	騰 落 率	
	円	%		%	%
(期首) 2014年11月12日	17,155	—	16,552	—	96.5
11月末	17,580	2.5	16,903	2.1	96.8
12月末	17,666	3.0	17,063	3.1	97.7
2015年1月末	18,282	6.6	17,674	6.8	97.8
2月末	18,568	8.2	17,943	8.4	97.8
3月末	18,417	7.4	17,895	8.1	97.1
4月末	18,095	5.5	17,534	5.9	96.8
5月末	18,635	8.6	18,096	9.3	96.1
6月末	18,558	8.2	17,871	8.0	97.3
7月末	18,785	9.5	18,200	10.0	97.0
8月末	17,775	3.6	17,245	4.2	97.0
9月末	17,987	4.8	17,536	5.9	96.8
10月末	18,528	8.0	17,944	8.4	96.9
(期末) 2015年11月12日	18,564	8.2	18,035	9.0	96.8

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) J Pモルガン G B I - E M インド (円換算) は、J Pモルガン G B I - E M インド (インド・ルピーベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。J Pモルガン G B I - E M インド (インド・ルピーベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morgan はその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morgan からの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2014, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



《今後の運用方針》

当ファンドの商品性格に鑑み、主として、インド債券等に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。債券ポートフォリオにつきましては、インド・ルピー建ての債券とインド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資します。インド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資する場合、原則として、為替予約取引および直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行ないます。実際の運用においては、政策金利の見直し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどを勘案し運用いたします。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	43
（保管費用）	( 26)
（その他）	( 17)
合 計	43

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出方法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 主要な売買銘柄

公 社 債

(2014年11月13日から2015年11月12日まで)

当 期		期	
買 付	金 額	売 付	金 額
銘 柄		銘 柄	
	千円		千円
India Government Bond (インド) 9.23% 2043/12/23	112,083	INTL. FIN. CORP. (国際機関) 6.3% 2024/11/25	272,541
Power Grid Corp of India Ltd (インド) 9.3% 2029/9/4	105,291	Power Grid Corp of India Ltd (インド) 9.3% 2029/9/4	105,538
NTPC Ltd (インド) 9.17% 2024/9/22	102,465	RURAL ELECTRIFICATION CORP LTD (インド) 9.28% 2017/2/15	99,190
Power Finance Corp Ltd (インド) 9.7% 2020/1/31	102,084	INTL. FIN. CORP. (国際機関) 7.8% 2019/6/3	38,428
India Government Bond (インド) 9.2% 2030/9/30	100,256	INTL. FIN. CORP. (国際機関) 6.45% 2018/10/30	27,408
EXPORT IMPORT BANK OF INDIA (インド) 8.15% 2030/1/21	97,565	Bank of India/London (インド) 4.75% 2015/9/30	24,011
Bank of India/London (インド) 3.625% 2018/9/21	76,998	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT (国際機関) 2.125% 2023/2/13	5,997
INDIAN RAILWAY FINANCE CORP LTD (インド) 3.917% 2019/2/26	41,145		
INTL. FIN. CORP. (国際機関) 7.8% 2019/6/3	40,010		
INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT (国際機関) 1% 2018/10/5	36,233		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■ 売買および取引の状況

(1) 公 社 債

(2014年11月13日から2015年11月12日まで)

		買 付 額	売 付 額
		千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル
外	アメリカ	特殊債券	495 ( — )
		社 債 券	1,887 ( — )
国	インド	国債証券	112,560 ( — )
		特殊債券	93,831 ( 176,454 )
		社 債 券	159,997 ( 105,268 )

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 社債券には新株予約権付社債券（転換社債券）は含まれておりません。

(注4) 単位未満は切捨て。

(2) 直物為替先渡取引

(2014年11月13日から2015年11月12日まで)

種 類	取 引 契 約 金 額	
	買 建	売 建
	百万円	百万円
直物為替先渡取引	1,914	19

(注1) インド・ルピー（対象通貨）の買建および売建の金額です。

(注2) 単位未満は切捨て。

# ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド

## ■組入資産明細表

### (1) 外国 (外貨建) 公社債 (通貨別)

区 分	額 面 金 額	当 期			末			
		評 価 額		組入比率	うちBB格 以下組入 率	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカ・ドル 2,625	千アメリカ・ドル 2,692	千円 330,847	% 14.6	% —	% 3.9	% 8.0	% 2.7
インド	千インド・ルピー 950,000	千インド・ルピー 995,687	千円 1,861,934	% 82.2	% —	% 73.7	% 4.3	% 4.2
合 計	—	—	2,192,781	96.8	—	77.6	12.3	6.9

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

### (2) 外国 (外貨建) 公社債 (銘柄別)

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日	
					外 貨 建 金 額	邦貨換算金額		
アメリカ	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	2.1250	千アメリカ・ドル 45	千アメリカ・ドル 45	5,565	2016/03/15	
	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	2.1250	150	149	18,345	2023/02/13	
	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	1.0000	300	297	36,490	2018/10/05	
	Oil India Ltd	社 債 券	5.3750	200	215	26,420	2024/04/17	
	Bharti Airtel Ltd	社 債 券	4.3750	240	239	29,384	2025/06/10	
	State Bank of India London	社 債 券	4.1250	250	258	31,702	2017/08/01	
	ICICI Bank Ltd/Hong Kong	社 債 券	5.7500	100	111	13,678	2020/11/16	
	ICICI Bank Ltd/Dubai	社 債 券	4.7000	200	209	25,756	2018/02/21	
	INDIAN RAILWAY FINANCE CORP LTD	社 債 券	3.4170	200	203	25,016	2017/10/10	
	INDIAN RAILWAY FINANCE CORP LTD	社 債 券	3.9170	320	329	40,483	2019/02/26	
	Bank of India/London	社 債 券	3.6250	620	634	78,002	2018/09/21	
	通貨小計	銘柄数	11銘柄		2,625	2,692	330,847	
		金 額						
インド	India Government Bond	国債証券	8.7900	千インド・ルピー 100,000	千インド・ルピー 104,453	195,327	2021/11/08	
	India Government Bond	国債証券	9.1500	50,000	54,151	101,262	2024/11/14	
	India Government Bond	国債証券	8.0700	50,000	50,530	94,492	2017/07/03	
	India Government Bond	国債証券	8.3300	50,000	51,645	96,576	2026/07/09	
	India Government Bond	国債証券	8.9700	150,000	164,079	306,827	2030/12/05	
	India Government Bond	国債証券	7.1600	100,000	96,398	180,264	2023/05/20	
	India Government Bond	国債証券	8.3200	50,000	51,554	96,406	2032/08/02	
	India Government Bond	国債証券	8.2800	100,000	103,037	192,679	2027/09/21	
	India Government Bond	国債証券	8.3000	50,000	51,893	97,039	2042/12/31	
	India Government Bond	国債証券	9.2300	50,000	56,812	106,239	2043/12/23	
	India Government Bond	国債証券	9.2000	50,000	55,125	103,083	2030/09/30	
	EXPORT IMPORT BANK OF INDIA	特殊債券	8.1500	50,000	50,244	93,956	2030/01/21	
	Power Finance Corp Ltd	社 債 券	9.7000	50,000	52,467	98,114	2020/01/31	
	NTPC Ltd	社 債 券	9.1700	50,000	53,297	99,665	2024/09/22	
通貨小計	銘柄数	14銘柄		950,000	995,687	1,861,934		
	金 額							
合 計	銘柄数	25銘柄						
	金 額					2,192,781		

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(3) 直物為替先渡取引残高

2015年11月12日現在

種 類	取 引 契 約 残 高	
	想 定 元 本 額	
	買 建	売 建
	百万円	百万円
直物為替先渡取引	338	7

(注1) インド・ルピー（対象通貨）の買建および売建の金額です。  
 (注2) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年11月12日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	2,192,781	96.5
コール・ローン等、その他	78,369	3.5
投資信託財産総額	2,271,151	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。  
 (注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月12日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=122.86円、1インド・ルピー=1.87円です。  
 (注3) 当期末における外貨建純資産（2,256,611千円）の投資信託財産総額（2,271,151千円）に対する比率は、99.4%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年11月12日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,278,787,959円
コール・ローン等	17,473,682
公社債（評価額）	2,192,781,964
未収入金	7,639,654
未収利息	56,975,725
前払費用	3,916,934
(B) 負債	13,411,486
未払金	12,336,486
未払解約金	940,000
その他未払費用	135,000
(C) 純資産総額（A－B）	2,265,376,473
元本	1,220,335,308
次期繰越損益金	1,045,041,165
(D) 受益権総口数	1,220,335,308口
1万口当り基準価額（C／D）	18,564円

\* 期首における元本額は1,061,255,961円、当期中における追加設定元本額は253,462,683円、同解約元本額は94,383,336円です。  
 \* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、インド・ボンド・オープン（毎月決算型）117,089,780円、ダイワ・インド・ルピー債オープン（毎月分配型）1,103,245,528円です。  
 \* 当期末の計算口数当りの純資産額は18,564円です。

■損益の状況

当期 自2014年11月13日 至2015年11月12日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	144,366,096円
受取利息	144,366,096
(B) 有価証券売買損益	13,812,893
売買益	58,954,085
売買損	45,141,192
(C) 先物取引等損益	2,560,395
取引益	13,368,024
取引損	15,928,419
(D) その他費用	4,850,645
(E) 当期損益金（A＋B＋C＋D）	150,767,949
(F) 前期繰越損益金	759,377,208
(G) 解約差損益金	77,265,664
(H) 追加信託差損益金	212,161,672
(I) 合計（E＋F＋G＋H）	1,045,041,165
次期繰越損益金（I）	1,045,041,165

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。  
 (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

《お知らせ》

●書面決議手続きの改正について

重大な約款変更や繰上償還の際に行なう書面決議について、2014年12月1日施行の法改正により以下の点が変更されたことに伴い、信託約款の該当箇所の変更を行ないました。

- ・書面決議の可決要件が、「受益者の半数以上の賛成かつ受益者の保有する議決権の3分の2以上の賛成を得ること」から「受益者の保有する議決権の3分の2以上の賛成を得ること」に変更されました。
- ・投資信託の併合を行なう際、すべての場合で書面決議が必要とされてきましたが、その併合が受益者の利益に及ぼす影響が軽微なものであるときは、当該併合に関する書面決議が不要となりました。
- ・書面決議に反対した受益者による受益権買取請求の規定について、一部解約請求に応じる投資信託（当ファンドは該当します。）には適用されなくなりました。